



和田光司研究室（国立大学法人電気通信大学）は、グローバルフレンドシップ株式会社とチップレス RF-ID 及びタグと秘密分散技術（電子割符）を融合したセキュリティ分野での効果的実装研究の推進に向けた連携協力を行うことになりました。

リリース冒頭概要：

和田光司研究室（東京都調布市、研究室教授 和田光司）は、グローバルフレンドシップ株式会社（東京都渋谷区、代表者、保倉 豊、以下 GFI）と、機微な個人情報を含めた情報資産等の安全且つ効果的管理手法研究と実装の推進に向けた連携協力を行うことを 2024 年 4 月 5 日に決定いたしました。

両者は、本決定に基づき以下を推進することで、喫緊の課題であるデジタル化された個人情報や情報資産等の安全且つ効果的な管理手法の実装を通じて広く社会貢献することと、次世代を背負う学生の育成を友好的な相互協力関係の下で目指します。

連携事項の概要部：

- 1 RF-ID と電子割符を融合したセキュリティ技術の効果的実装の推進
- 2 RF-ID と電子割符を融合したセキュリティ技術の実装モデルの広範な社会普及の推進
- 3 RF-ID と電子割符を融合したセキュリティ技術の基礎研究重要性の社会訴求と調査研究、試作実証等の推進
- 4 RF-ID と電子割符を融合したセキュリティ技術の国内実装モデルを元にした、グローバルな社会貢献の推進

本件の動向等は、今後の進捗に合わせ、適宜両者から発表していく予定です。

和田光司研究室 和田光司教授のコメント：

和田光司研究室では従来ステップインピーダンス共振器をはじめとする各種共振器の基本特性とその応用回路として各種フィルタ等を開発してきました。さらに我々はそれらのノウハウを巧みに用いたチップレス RFID タグの開発に至りました。次に我々の有するシーズとグローバルフレンドシップ株式会社開発の究極の割符技術とのシナジー効果でタグシステムの有効利用とセキュリティ技術の効果的実装に踏み出します。

和田光司研究室

<http://www.k-wada.lab.uec.ac.jp/index.html>

グローバルフレンドシップ株式会社 代表保倉 豊のコメント：

現在及び今後の社会環境がデジタル空間を有効に活用した姿に変貌していることは、衆目の一致するところと存じます。今回の取組は、そうした実社会環境下で不可避なデジタルデータの、根本的な安全・安心に直接影響を与える取組です。この取組成果は、日本のみならず世界に大きなインパクトを与えることとなります。簡単に説明すると、責任主体である当事者自身を証明する電子ファイルや、当事者自身に帰属する機微な個人情報を含めた情報資産等を、弊社 GFI 電子割符®（代表的秘密分散技術）で割符ファイル化し、和田先生の研究するメモリーを有効活用し、サイバー空間と実社会に、最適配置することで割符化前の管理対象デジタル情報を、本人が特段意図せずとも極めて高く管理できるようになります。勿論、本人や関係者等による積極的且つ能動的な管理にも寄与します。この仕組みは、人に優しく且つ、高度な法令対応が実現できる社会環境整備に大きく寄与する取組となりますので、和田光司研究室（国立大学法人電気通信大学）との本合意による取組に、心より期待するところです。

グローバルフレンドシップ株式会社

<https://www.gfi.co.jp/>

以上。